1．松川町 公共交通運行の現状と見直しの方向性

1. 運行見直しの背景

松川町では、平成21年度から松川町コミュニティバス（まつかわフルーツバス）の運行を開始し、高齢者や学生など移動手段を持たない住民の移動手段を確保している。
しかし、利用者の減少や中山間地に集落が点在している地勢から、効率的な運行ができないことなどの課題を抱えている状況にある。
こうした中、松川町地域公共交通対策協議会では、より便利で効率的な運行を実現し、将来も公共交通を維持できるよう、運行の見直しを図ることとした。

2. 現状の整理（アンケート調査等結果、乗降データ集計）

(1)移動実態（住民アンケート結果）

移動目的	現状
平日の通勤・通学	・回答者のうち定期的に通勤・通学をしている割合は54.5%であった。日常の移動目的の中でもっとも多くの者が「通勤・通学をしている」と回答した。 ・7～8時台に目的地に到着したいと回答した者が多い。帰宅開始時間は16～19時台に多い。 ・JR飯田線を利用している回答者がある程度いるが、まつかわフルーツバスの利用者は少ない。
平日の通院	・回答者のうち定期的に通院をしている割合は44.0%であった。 ・目的地に到着したい時間帯は7～9時台、帰宅開始時間は10～12時台に多いが、13時以降も移動している者がいる。 ・自家用車を利用している回答者が多いものの、まつかわフルーツバス、JR飯田線の利用者がある程度いる。
平日の買物	・回答者のうち定期的に買物に出かけている割合は55.1%であった。 ・目的地に到着したい時間帯は10時台、帰宅開始時間は11時台がピークではあるが、9～19時台と広い時間帯で移動している。 ・自家用車を利用している回答者が多いものの、まつかわフルーツバス、JR飯田線の利用者がある程度いる。
平日のその他の移動	・通勤・通学・通院・買物以外の移動が「ある」と回答したのは18.4%であった。 ・目的地に到着したい時間帯は9時台、帰宅開始時間は15時台、21時台がピークではあるが、8～20時台と広い時間帯で移動している。 ・自家用車を利用している回答者が多い。まつかわフルーツバスの利用者もある程度いる。
土日の移動	・定期的な土日の移動が「ある」と回答したのは15.9%であった。 ・目的地に到着したい時間帯は8時台、10時台、帰宅開始時間は17時台にピークがあるが、7～21時台と広い時間帯で移動している。 ・自家用車を利用している回答者が多い。

(2)行けない施設（住民アンケート結果）

- 行けない施設が「ある」と回答したのは3.2%であった。しかし、あげられた町内施設についてはまつかわフルーツバスでの移動が可能となっている。
- 町外の施設には、公共交通だけで移動するのが難しいものもある。

(3)まつかわフルーツバスの利用状況（乗降データの集計）

	現状
全体	・平成28年度の総利用者数は34,762人である。一部の便を除けば、1便あたりの利用者数は3.0人/便以上である。近隣市町村の路線バスの利用実績（1.0人/便未満が3路線、2.0人/便未満が4路線、2.0人/便以上が2路線）と比較すると利用者は多いといえる。 ・乗降者数が少ないバス停が見受けられる。 ・学生（高校生以上）の鉄道との乗り継ぎ利用が少ない。伊那大島駅での乗降はあるものの（乗車：752人、降車：1,162人）、半数以上が日中の時間帯である。鉄道との乗り継ぎ利用は、学生以外が多いと考えられる。
朝・夕	・朝・夕には、通学・通勤に対応した上片桐・大島通学便、部奈線、生田線が運行している。 ・飯田方面への移動を中心に行きと帰りともに伊那大島駅との接続がとられているものの、多くは小中学生の通学利用が大半を占めている。 ・高校進学時のまつかわフルーツバスの利用意向では「積極的に利用すると思う」が21.7%であるのに対して、「利用しないと思う」が56.5%であった。利用しない理由としては、「駅・学校が近く、利用する必要がない」に次いでダイヤに関するものがあげられている。
日中	・「日赤病院」「清流苑」「ぺっかん前」「キラヤ前」「伊那大島駅」での利用が多いが、「日赤病院」「清流苑」については、降車と比べると乗車が少なく、行きはまつかわフルーツバスで移動するが、帰りは別の移動方法を選択している者が多い。

(4)公共交通に対する意識（乗り込み調査結果）

- 利用者の満足度は高く「大変よい」45.5%、「よい」36.4%となっている。
- 生活をするうえでもっとも重要な移動において公共交通を「すでに使っている」のは6.0%、「使おうとは思わない」は56.2%であった。また、日々の移動において公共交通を月に1度以上「切り替え可能」としたのは17.8%であった。
- 公共交通で確保するべき移動としては、「高齢者の通院・買物」「高校生等の通学」が他の移動に比べて「確保すべき」の割合が高くなっている。
- しかし、中学生以下の子どもがいる世帯においては、高校進学時にまつかわフルーツバスを「積極的に利用すると思う」が21.7%にとどまり、「利用しないと思う」が56.5%であった

3. 運行見直し方向性

①基本的には、現行の運行体制を維持する

- 現行の運行体制において、ある程度の利用者数を確保できている。主に小中学生の登下校に利用されている朝夕の便の利用者数は1便あたり5～10人/便であり、主に高齢者の通院・買物に利用されている日中の便は、一部の便を除けば、1便あたりの利用者数が3人/便以上である。このことから、運行体制を大きく見直す必要はないと考える。（大きな見直しによって既存の利用者が利用しなくなる可能性がある）

②ターゲットの見直し

- 利用者の属性を推測すると、まつかわフルーツバスの利用のほとんどは小中学生の登下校と高齢者の通院・買物等によるものであり、高校生の利用がほぼない。
- 運行見直しにあたっては、高校生を公共交通のターゲットに含めるかを明確にする必要がある。

③一部の便の予約制運行、バス停の整理

- ターゲットを明らかにしたうえで、利用が少ない一部の便を例えば予約制運行に変更したり、利用が少ないバス停の廃止などによる運行の効率化を検討する。

④スクールバスとの役割の明確化・整理

⑤利用促進（時刻表の配布、住民説明会の開催、乗り方教室など）の実施の検討

2. 運行見直し案

1. 運行見直し内容（案）

1. 朝の部奈線、生田線のダイヤ調整

① 部奈線の第2便（大堤6:47発→役場前）については、伊那大島駅7:09発 飯田方面への乗継時間が3分。

② 部奈線第4便（大堤7:32発→役場前）、生田線第4便（上峠7:20発→役場前）については、伊那大島駅7:36発 飯田方面行きに接続ができていない。

⇒できれば、第1便の発車時間を前倒して、接続を計りたい。

検討：どの便も小中学生の登校利用が多い便であるため、影響を確認しつつ調整。

2. 上片桐・大島通学便の第3便と部奈線第5便、生田線第5便の発車時間の調整

上片桐大島・通学便の第3便（伊那大島駅9:00発→西山→キラヤ前）と部奈線第5便（役場前16:15発→大堤）、生田線の第5便（役場前16:15発→上峠）の運行を15分ほど後ろ倒しして、飯田方面からの鉄道との接続をはかる。

下記を踏まえて検討

- 小中学校の下校時間にあわせた便である。
- 後ろの便の運行時間にかかる影響。
- 固定の利用者がいると考えられる。
- 駒ヶ根方面からの接続がとれなくなる。

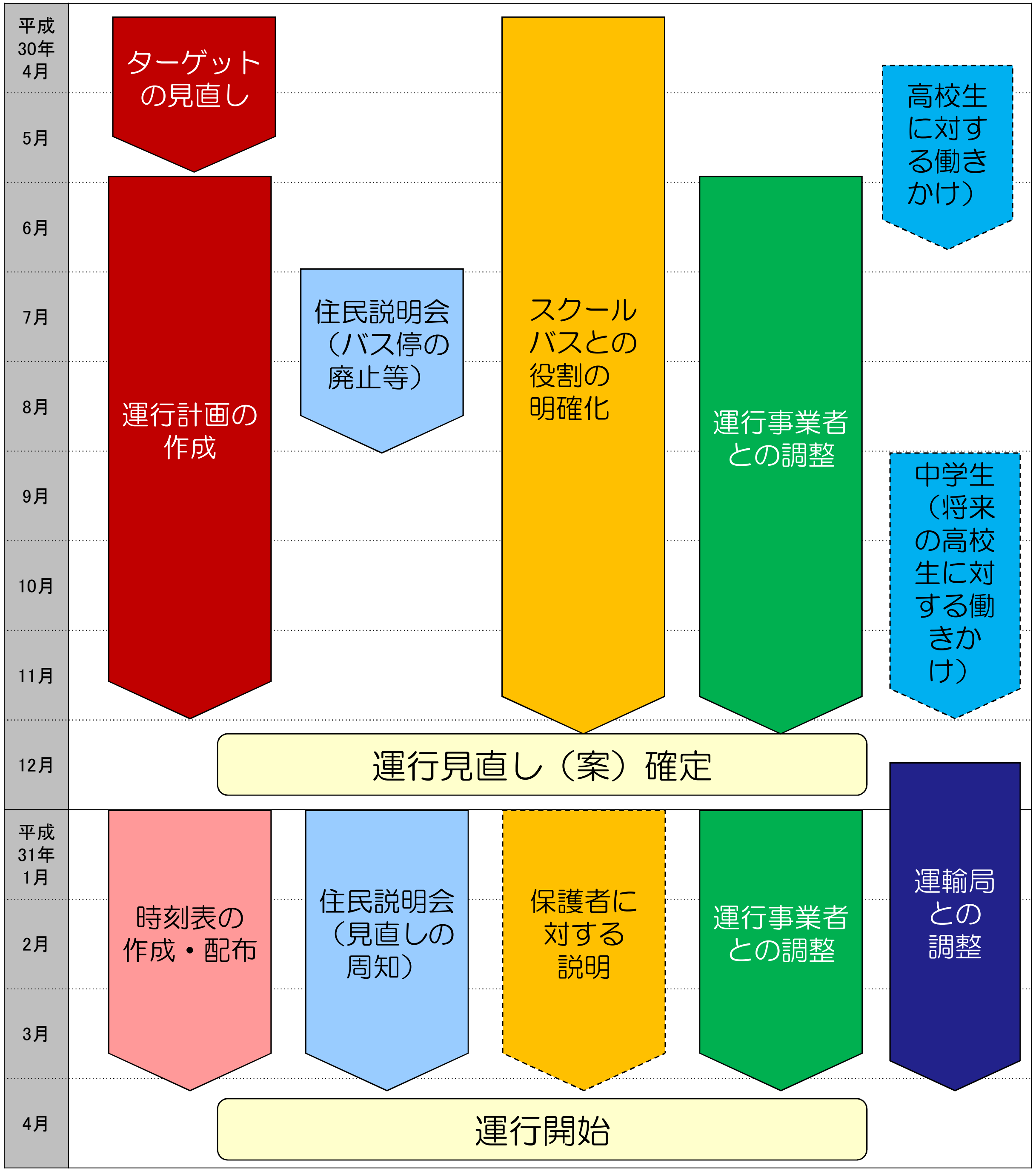
3. デマンド化の検討

冬期運休となる上片桐・大島通学便の第5便、生田線の第10便のデマンド化（予約運行）を検討する。これら便の利用者は1.0人/便未満である。

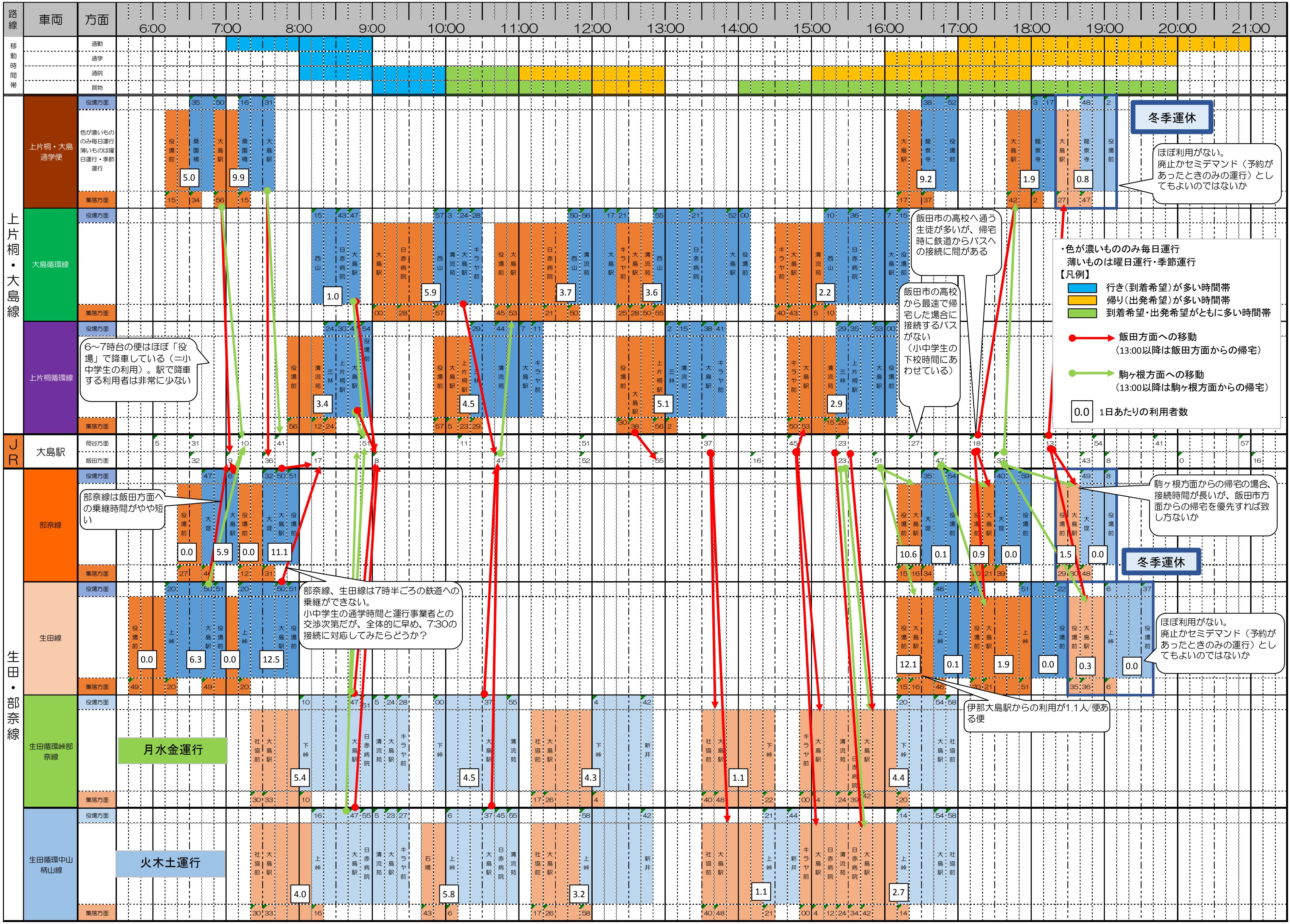
4. バス停の整理

乗降データより、利用が少ないバス停がある。13ページ目にバス停別利用者数と整理可能なバス停についてまとめた。（ただし、利用が少ないバス停とはいえ、経路上通過しなければならないものは残すこととした）

2. スケジュール（案）



【参考】現行 棒ダイヤ（鉄道との接続状況、1便あたりの利用者数の整理）

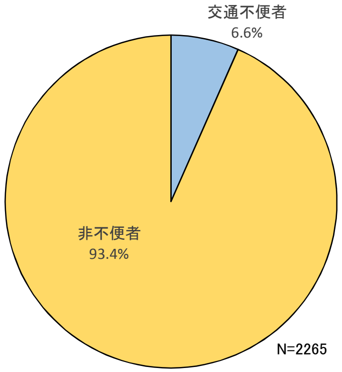


【参考】住民アンケート調査結果（抜粋）

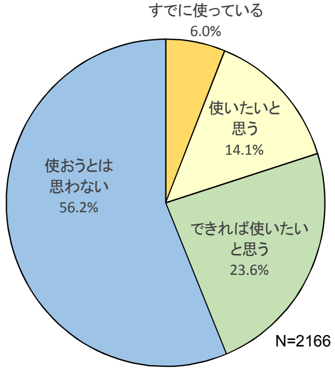
【参考】調査実施概要

項目	概要	項目	概要
方法	質問紙法。配布は、町会を通じて行った。回収は、郵送にて実施した。	調査対象	松川町の自治会加入世帯（3,399世帯）を対象とし、高校生以上の世帯構成員に回答を依頼した。
期間	平成29年11月16日（木）から平成29年12月15日（金）	回答件数	1,065件（31.3%）。回答者数は2,300人。（※設問によっては無回答もあるため、合計数が異なる）

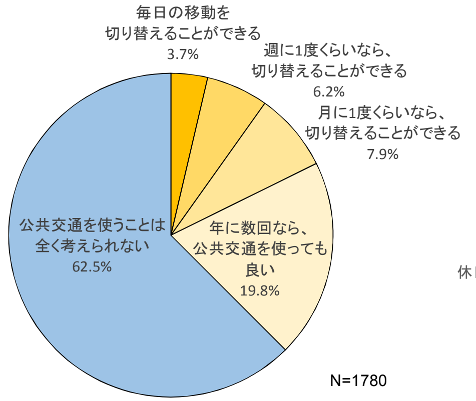
●交通不便者の割合



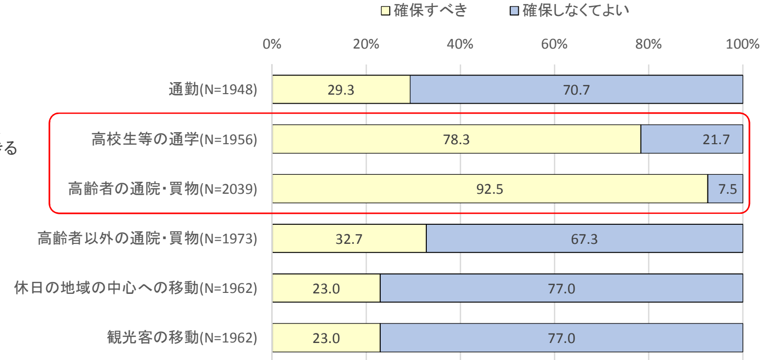
●生活するうえでの重要な移動に公共交通を使いたいか



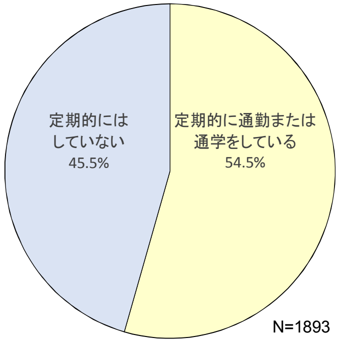
●公共交通への切り替え意向（現在、公共交通を利用していない者のみ）



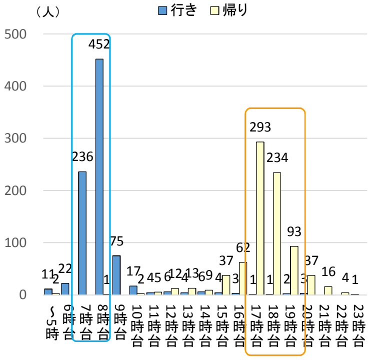
●公共交通で確保するべき移動



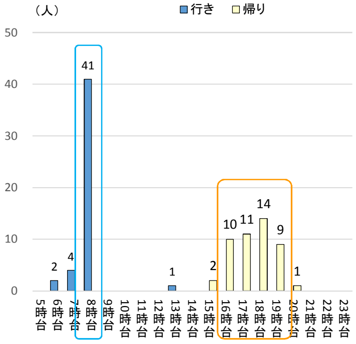
●定期的な通勤・通学の移動の有無



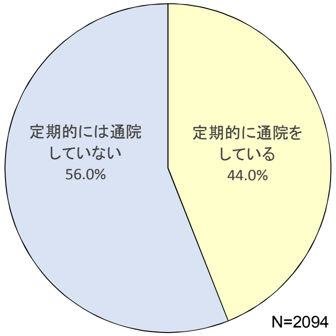
●通勤の移動時間帯



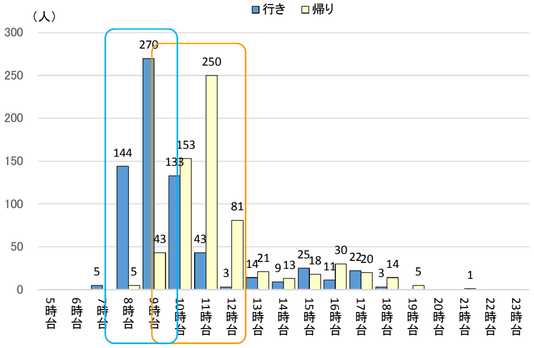
●通学の移動時間帯



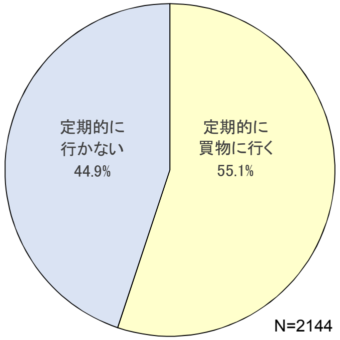
●定期的な通院の移動の有無



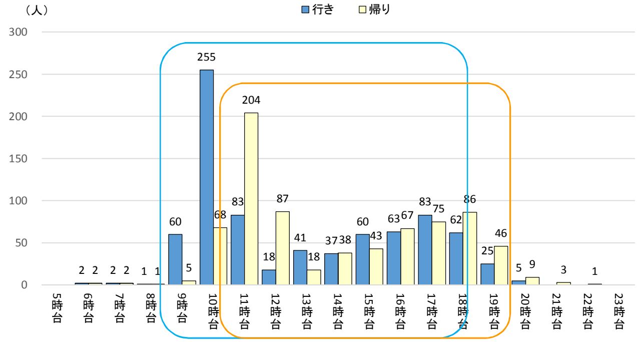
●通院の移動時間帯



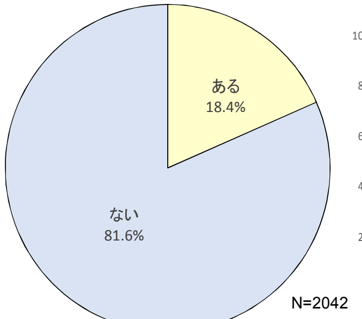
●定期的な買物の移動の有無



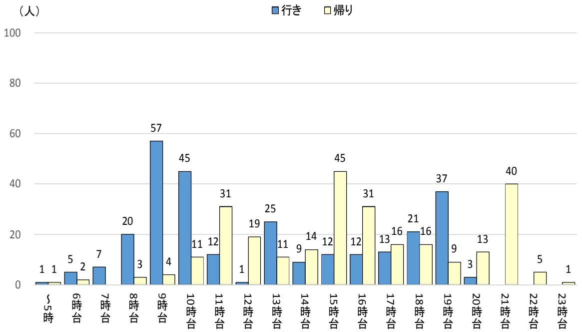
●買物の移動時間帯



●定期的なその他の移動の有無



●通院の移動時間帯

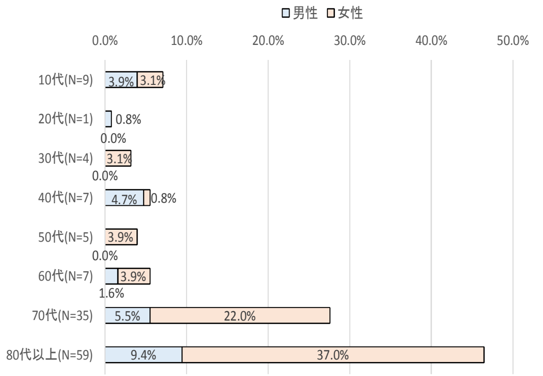


【参考】まつかわフルーツバス利用者調査結果（抜粋）

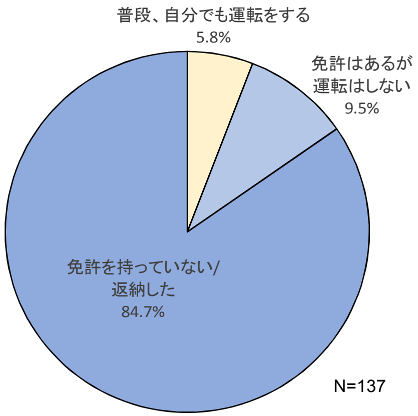
【参考】調査実施概要

項目	概要	項目	概要
方法	質問紙法。調査員が利用者に対して対面聞き取りで回答を得た。	調査対象	まつかわフルーツバス全路線全便の利用者。
期間	平成29年12月11日（月）から平成29年12月22日（金）	回答件数	149件

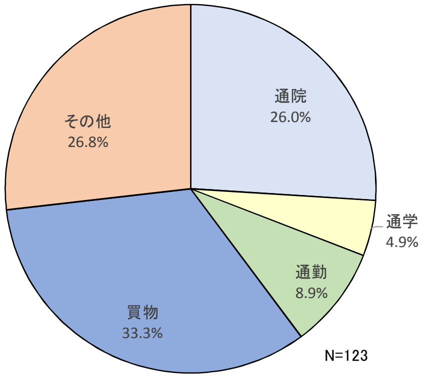
●年代と性別



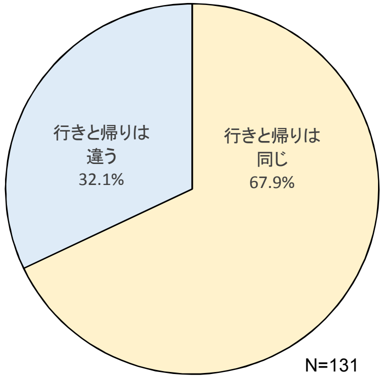
●免許の保有・運転状況



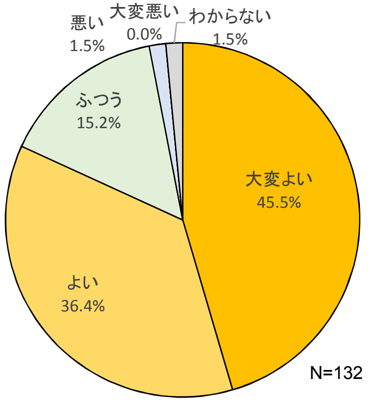
●フルーツバスの利用目的



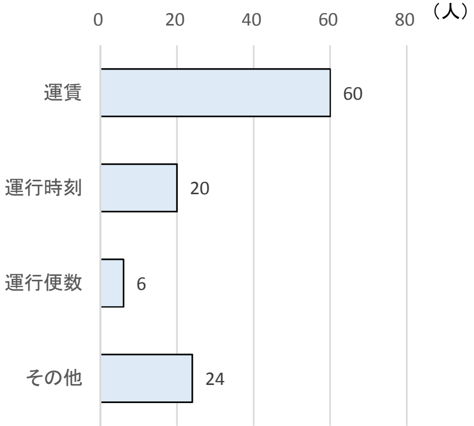
●往復での利用状況



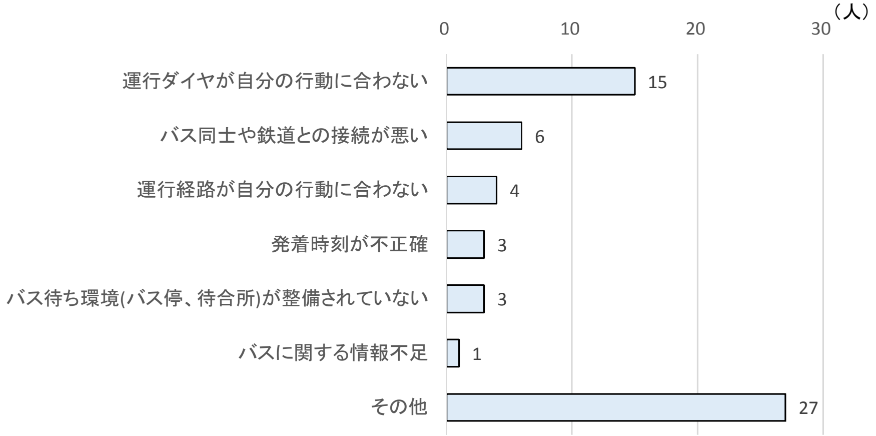
●フルーツバスの満足度



●フルーツバスのよい点

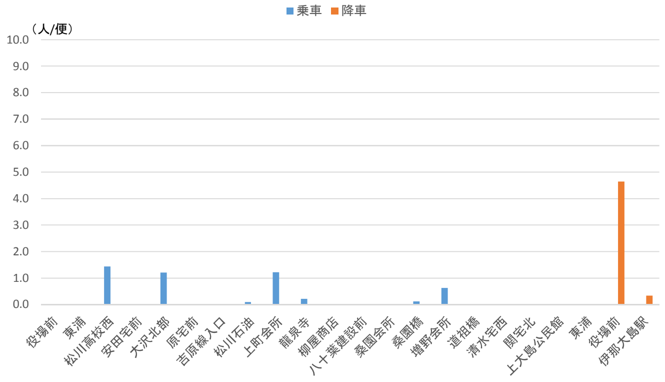


●フルーツバスの改善するべき点

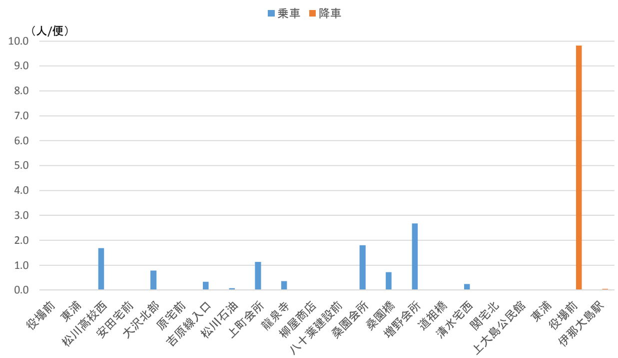


【参考】平成28年度　上片桐・大島通学便 1便あたりの利用者数

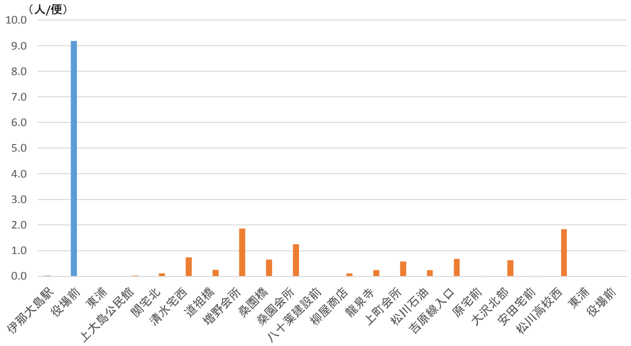
1便　役場前(6:15発)→桑園会所→伊那大島駅



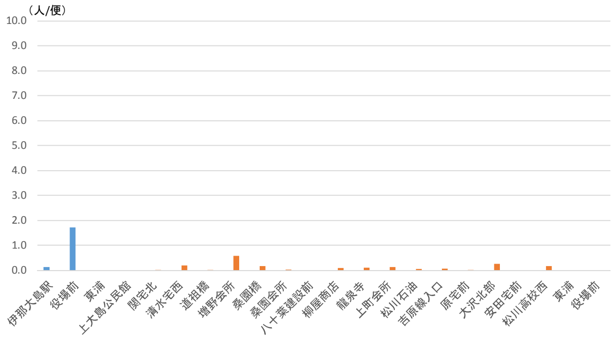
2便　役場前(6:56発)→桑園会所→伊那大島駅



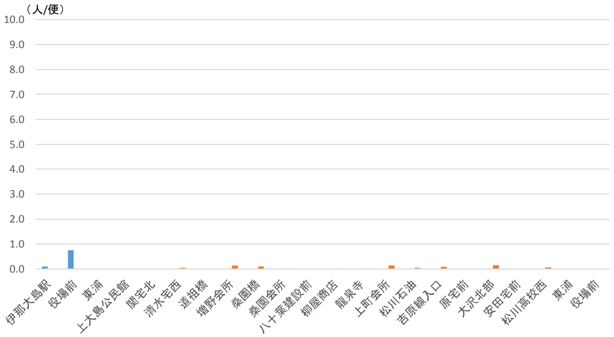
3便　伊那大島駅(16:17発)→桑園会所→役場前



4便　伊那大島駅(17:42発)→桑園会所→役場前



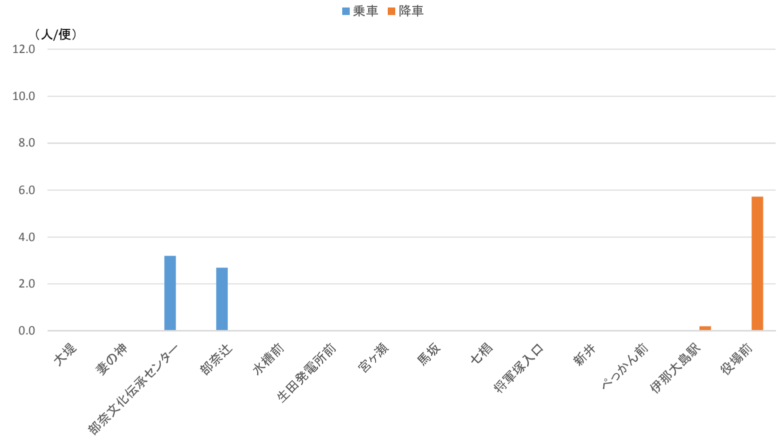
5便　伊那大島駅(18:27発)→桑園会所→役場前　(冬期運休)



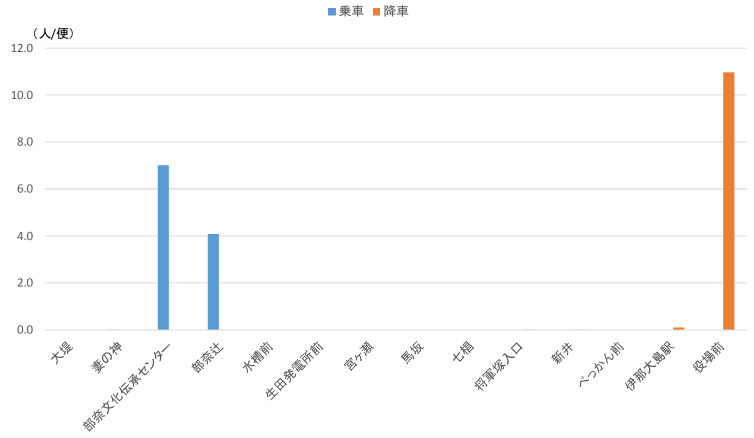
- 第1便、第2便ともにほとんどの利用者が「役場」で降車している。これは小中学生の通学利用と考えられる。一方、伊那大島駅で降車する利用者はほとんどおらず、高校生の通学や社会人の通勤等では利用されていないと考えられる。
- 第3便、第4便、第5便の利用についても同様の傾向で、ほとんどの利用者が「役場」から乗車している。
- 第4便、第5便はほかの便に比べて利用が落ち込む。特に第5便は1便あたりの利用者が1.0人を割り込んでいる。

【参考】平成28年度　部奈線 1便あたりの利用者数

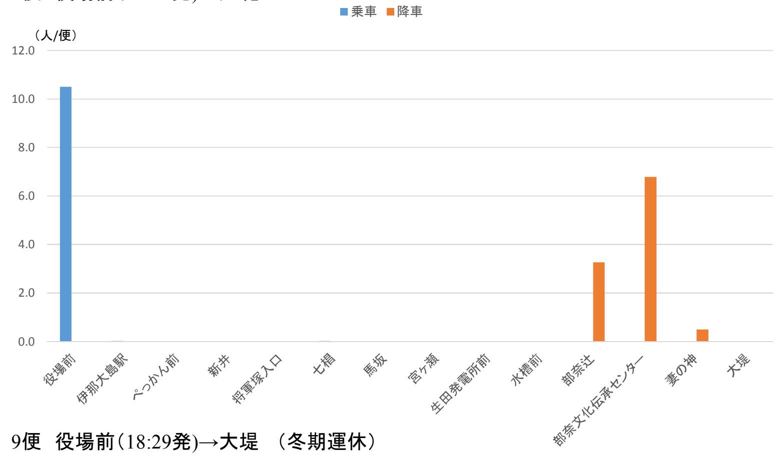
2便　大堤(6:47発)→役場前、伊那大島駅



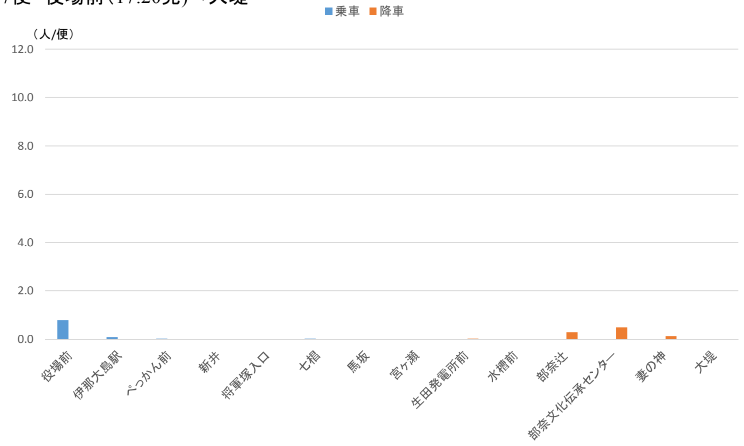
4便　大堤(7:32発)→役場前、伊那大島駅



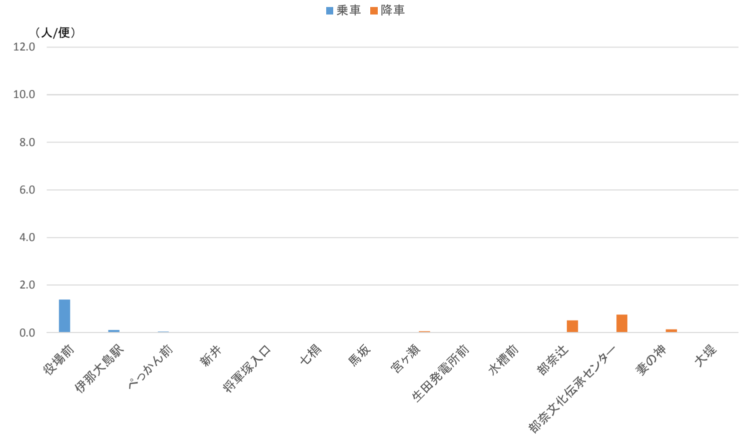
5便　役場前(16:15発)→大堤



7便　役場前(17:20発)→大堤



9便　役場前(18:29発)→大堤　（冬期運休）

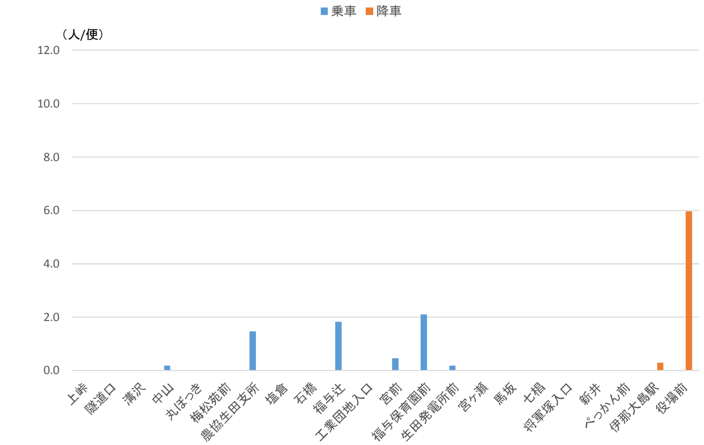


※1、3、6、8、10便は利用者がほぼ「0」であるためグラフを示していない

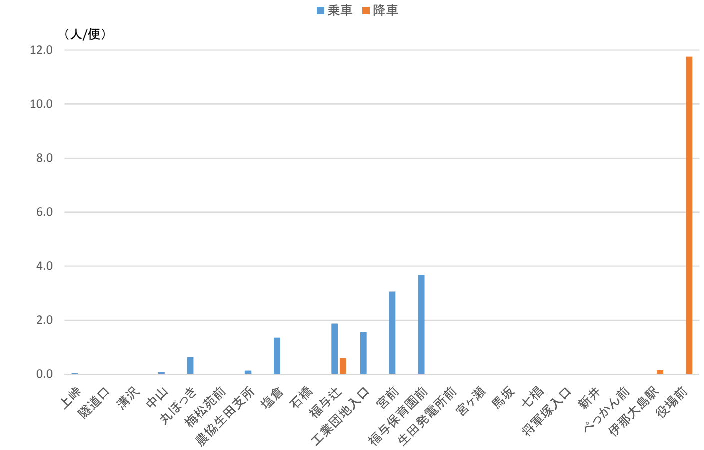
- 第2便、第4便ともにほとんどの利用者が「役場」で降車している。これは小中学生の通学利用と考えられる。一部、伊那大島駅で降車する利用者があり、高校生の通学や社会人の通勤等での利用があると考えられる。
- 第5便、第7便、第9便の利用については、ほとんどの利用者が「役場」から乗車しており、小中学生の帰宅利用であると考えられる。
- 第7便、第9便はほかの便に比べて利用が落ち込む。特に第7便は1便あたりの利用者が1.0人を割り込んでいる。
- 第7便、第9便は「伊那大島駅」から乗車する利用者も一部いる。鉄道から乗り継いで帰宅するための利用と考えられる。

【参考】平成28年度　生田線 1便あたりの利用者数

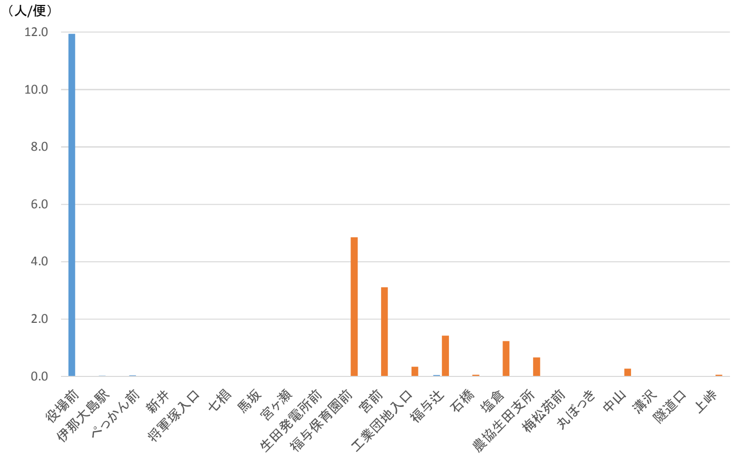
2便　上峠(6:20発)→役場前、伊那大島駅



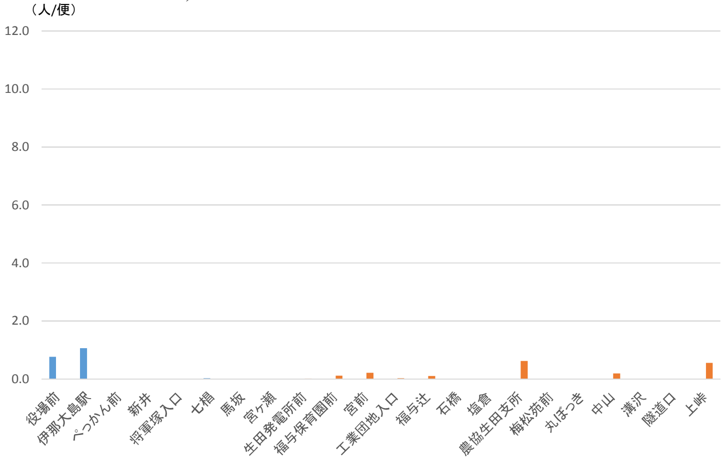
4便　上峠(7:20発)→役場前、伊那大島駅



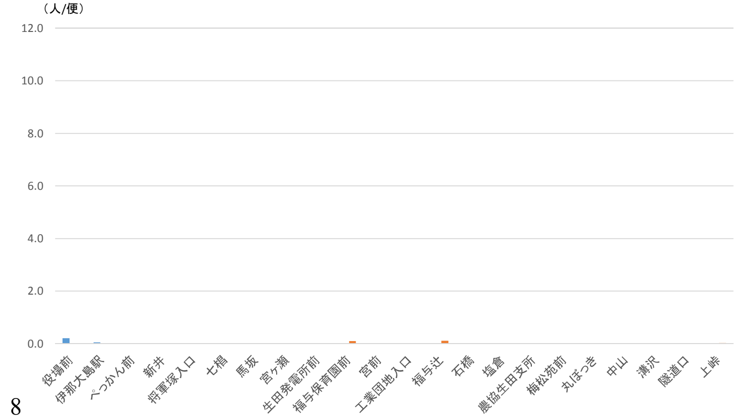
5便　役場前(16:15発)→上峠



7便　役場前(17:20発)→上峠



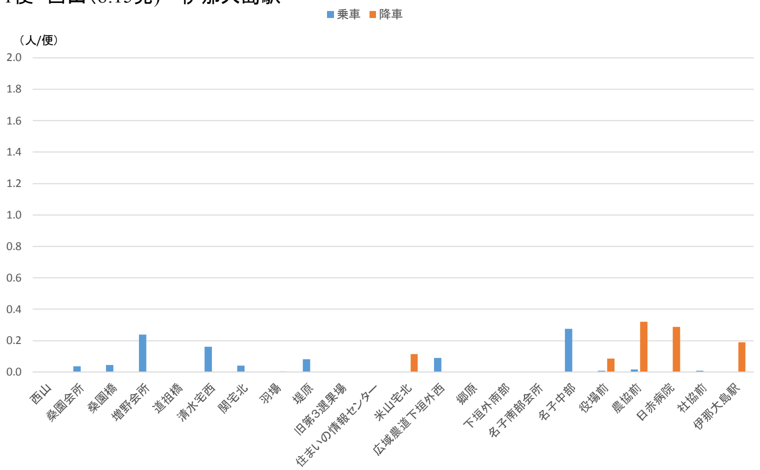
9便　役場前(18:35発)→上峠



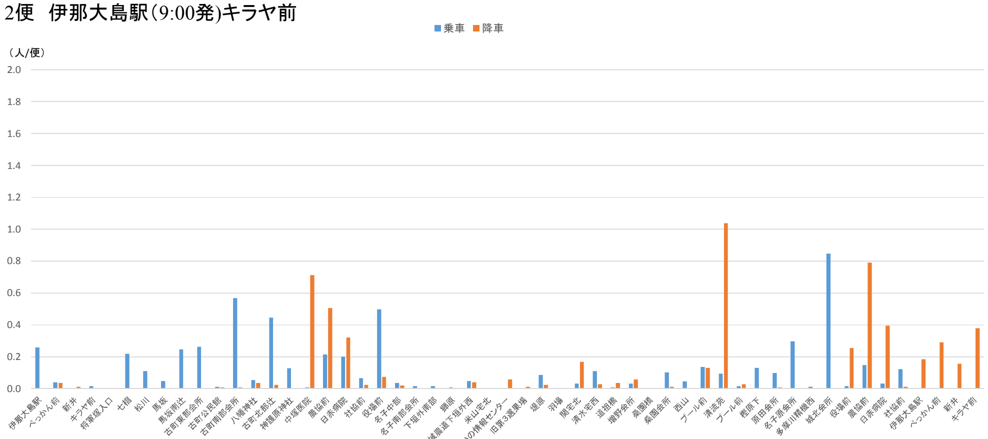
※1、3、6、8、10便は利用者がほぼ「0」であるためグラフを示していない

- 第2便、第4便ともにほとんどの利用者が「役場」で降車している。これは小中学生の通学利用と考えられる。一部、伊那大島駅で降車する利用者があり、高校生の通学や社会人の通勤等での利用があると考えられる。
- 第5便については、ほとんどの利用者が「役場」から乗車しており、小中学生の帰宅利用であると考えられる
- 第7便、第9便はほかの便に比べて利用が落ち込む。
- 第7便は「伊那大島駅」から乗車する利用がある。1便あたりの利用者が1.1人/便となっており、定期的な利用があると考えられる。
- 第9便は利用が少ない。

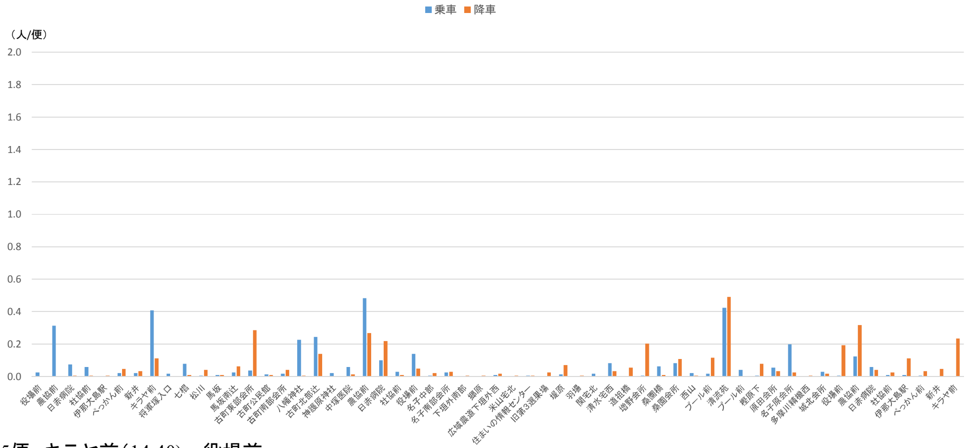
1便　西山(8:15発)→伊那大島駅



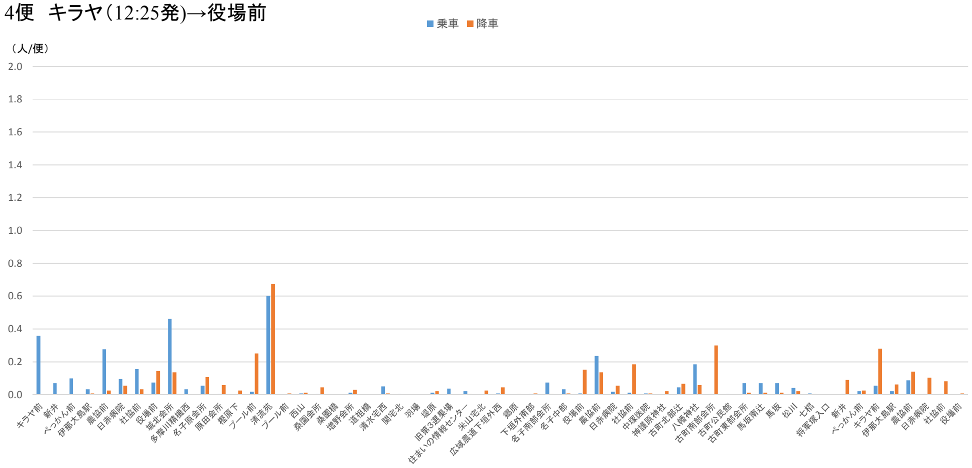
2便　伊那大島駅(9:00発)キラヤ前



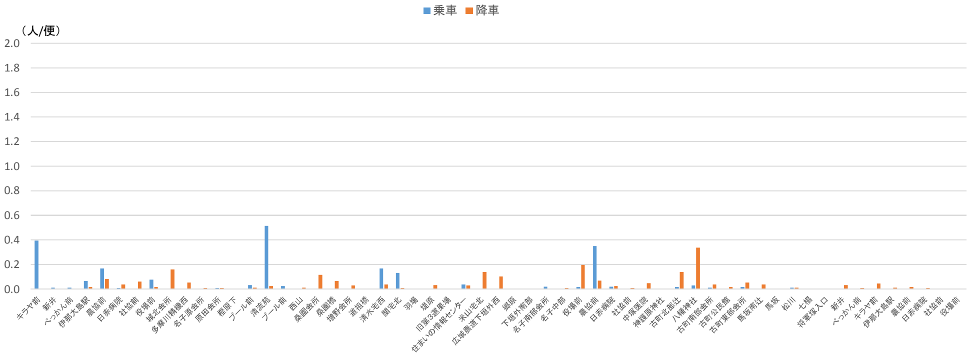
3便　役場前(10:45発)→キラヤ前



4便　キラヤ(12:25発)→役場前



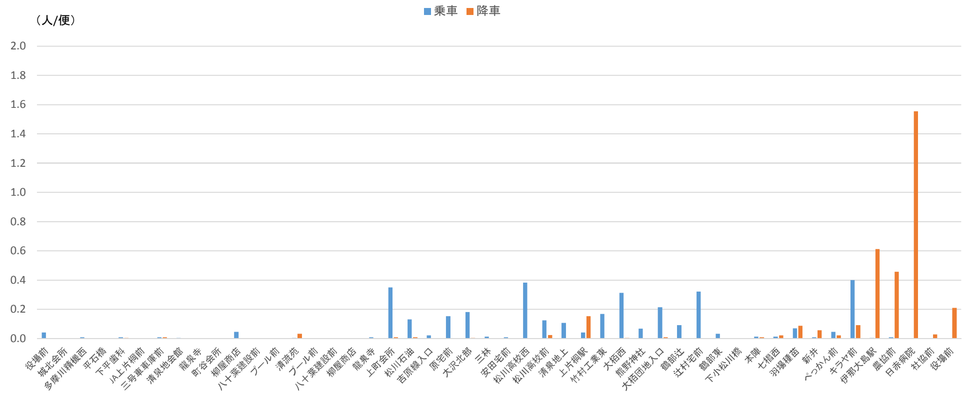
5便　キラヤ前(14:40)→役場前



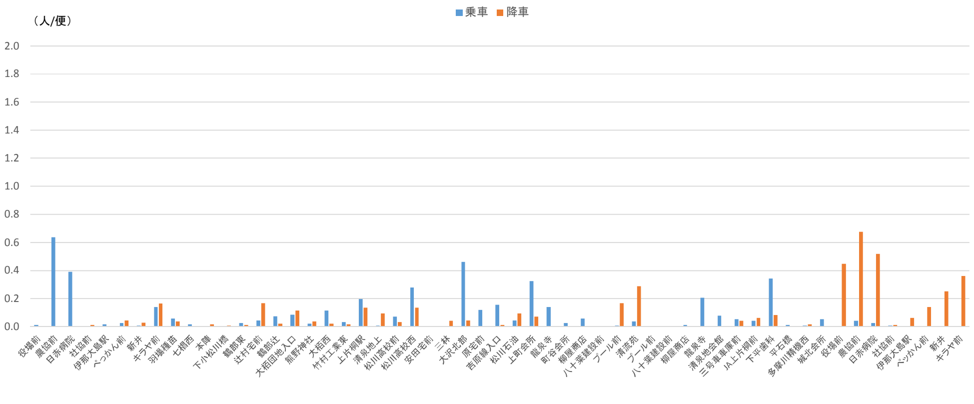
- 大島循環線は全体的に、「日赤病院」「清流苑」「ぺっかん前」「キラヤ前」「伊那大島駅」での利用が多い。
- 第2便、第3便、第4便においては「清流苑」での降車が多いものの、乗車が少ないことから、行きはバスを利用するものの、帰宅時は別移動手段を使う者が多いことが推測できる。「日赤病院」も同様の傾向で、降車に比べて乗車が少ない。

【参考】平成28年度　上片桐循環線1便あたりの利用者数

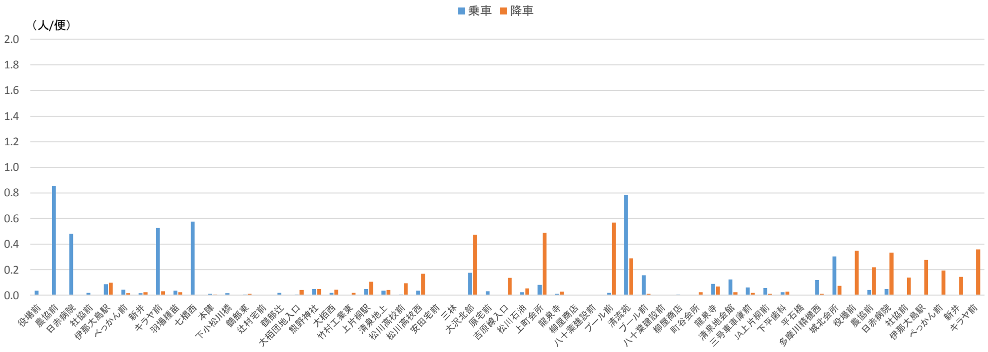
1便　役場前(7:56発)→伊那大島駅→役場前



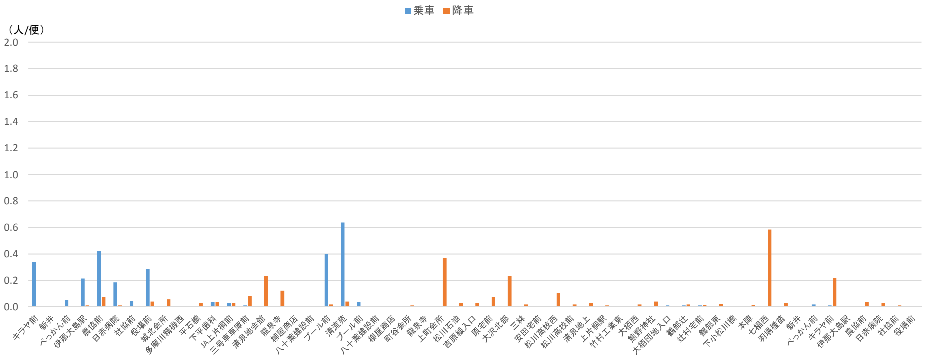
2便　役場前(9:57発)→キラヤ前



3便　役場前(12:30発)→キラヤ前



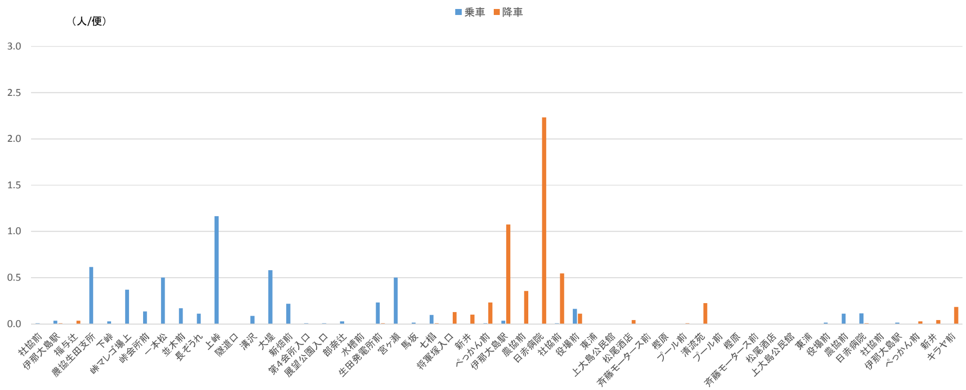
4便　キラヤ前(14:50発)→役場前



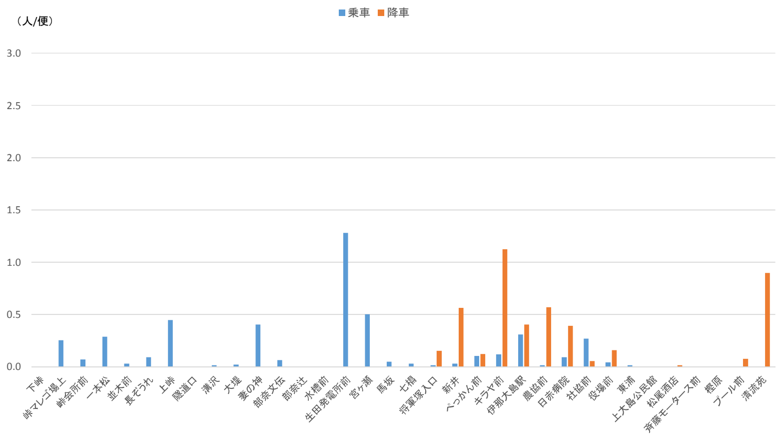
- 大島循環線は、全体的に「日赤病院」「清流苑」「ぺっかん前」「キラヤ前」「伊那大島駅」での利用が多い。
- 第1便、第2便で「日赤病院」での降車が多いものの、第2便、第3便、第4便で「日赤病院」からの乗車が少ないことから、行きはバスを利用するものの、帰宅時は別移動手段を使う者が多いことが推測できる。

【参考】生田循環　峠部奈線

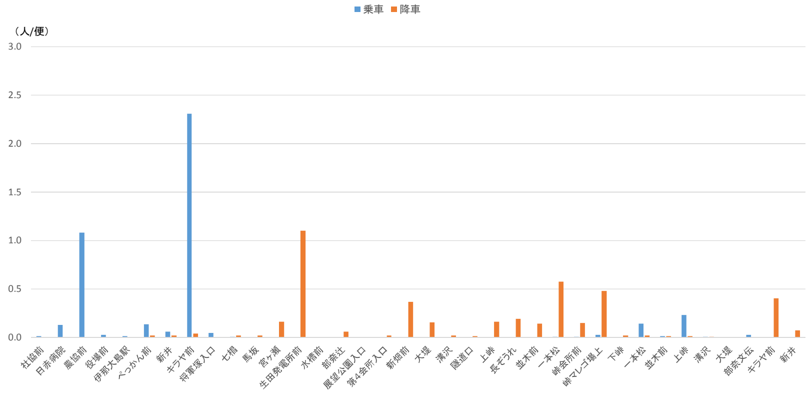
1便　社協前（7:30発）→キラヤ前



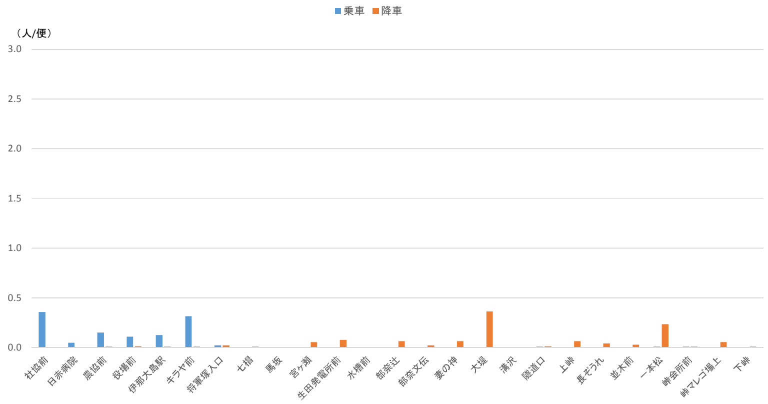
2便　下峠（10:00発）→清流苑



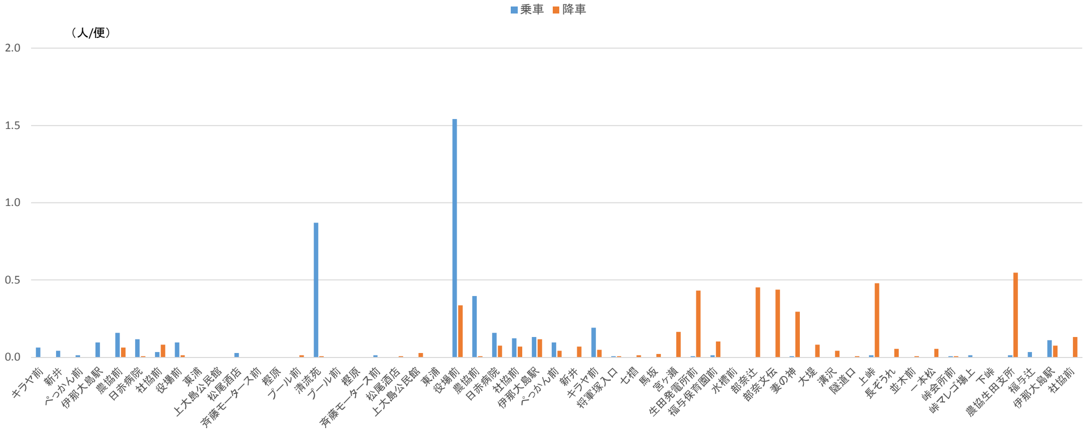
3便　社協前（11:17発）→キラヤ前、新井



4便　社協前（13:40発）→下峠

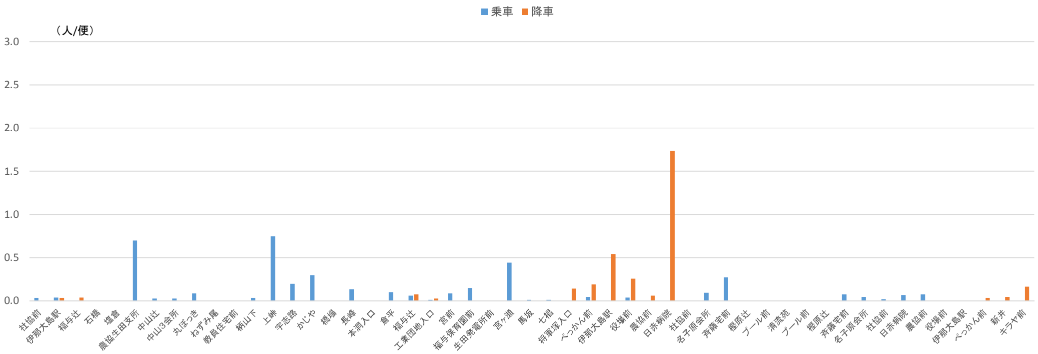


5便　キラヤ前（15:00発）→社協前

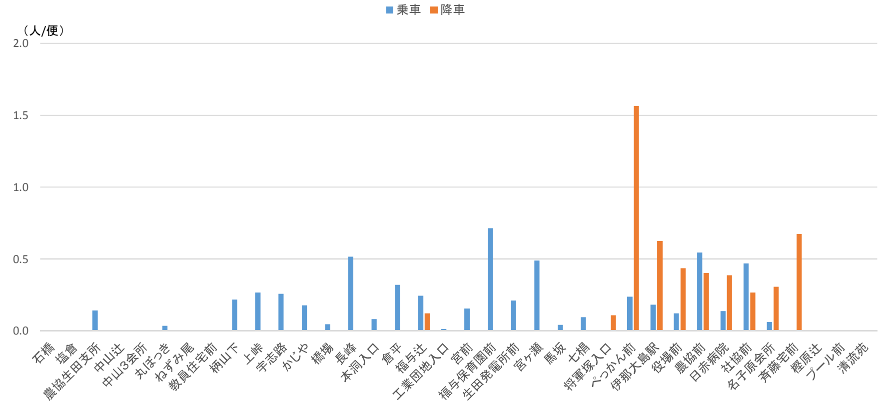


- 大島循環線、上片桐循環線と同様に、部奈線も全体的に、「日赤病院」「清流苑」「ぺっかん前」「キラヤ前」「伊那大島駅」での利用が多い。
- 第1便、第2便で「日赤病院」での降車が多いものの、第2便、第3便、第4便で「日赤病院」からの乗車が少ないことから、行きはバスを利用するものの、帰宅時は別移動手段を使う者が多いことが推測できる。

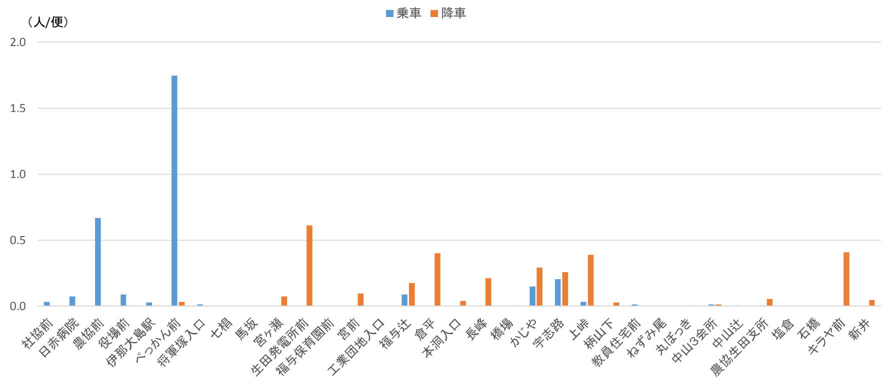
1便　社協前（7:30発）→キラヤ前



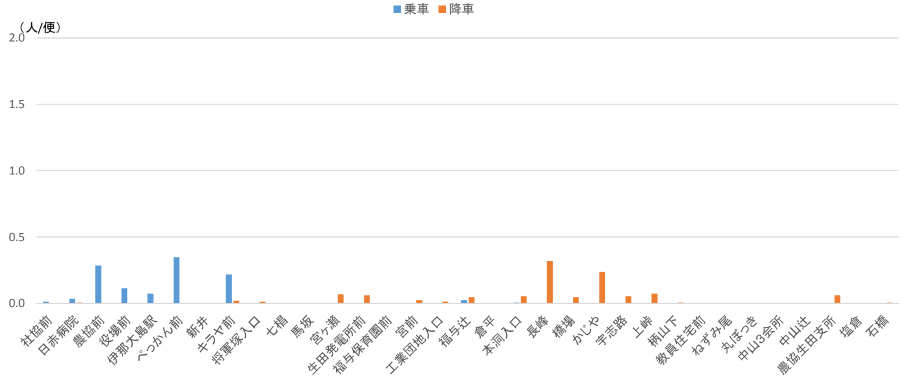
2便　石橋（9:43発）→清流苑



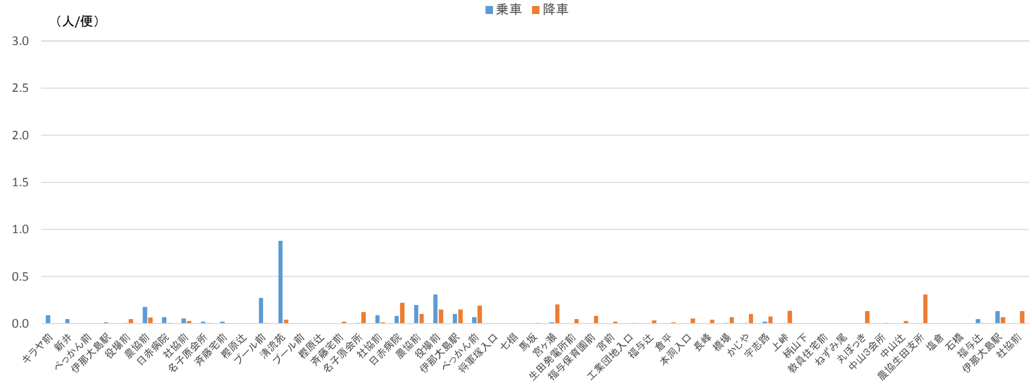
3便　社協前（11:17発）→キラヤ前、新井



4便　社協前（13:40発）→石橋

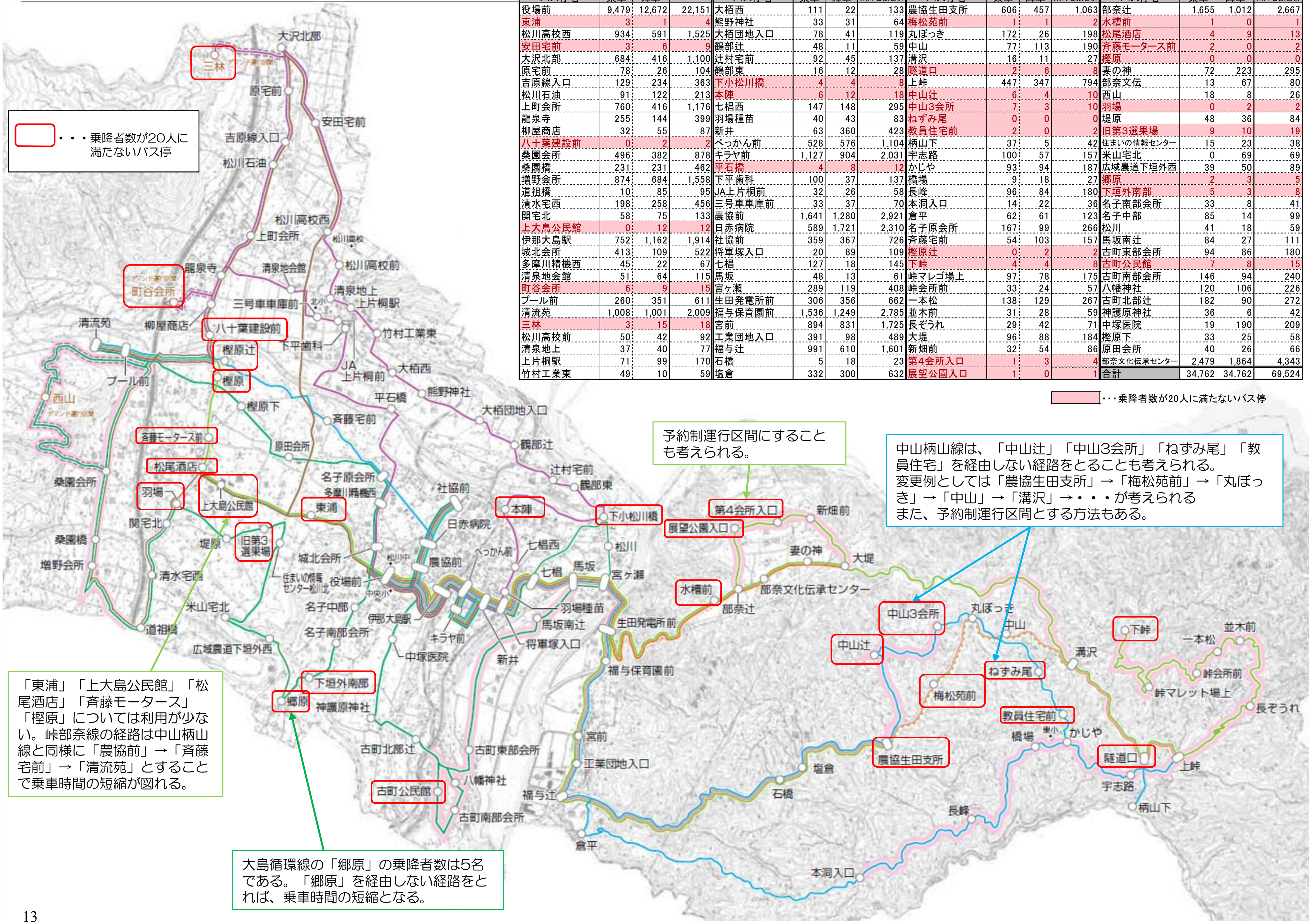


5便　キラヤ前（15:00発）→社協前



- 大島循環線、上片桐循環線と同様に、中山柄山線も全体的に、「日赤病院」「清流苑」「ぺっかん前」「キラヤ前」「伊那大島駅」での乗降が多い。
- 第1便、第2便で「日赤病院」での降車が多いものの、第2便、第3便、第4便、第5便で「日赤病院」からの乗車が少ないことから、行きはバスを利用するものの、帰宅時は別移動手段を使う者が多いことが推測できる。
- 部奈線に比べると、第5便の利用者が少ない。

【参考】平成28年度 バス停別乗降者数

バス停名	乗車	降車	乗降者数合計	バス停名	乗車	降車	乗降者数合計	バス停名	乗車	降車	乗降者数合計	バス停名	乗車	降車	乗降者数合計
役場前	9,479	12,672	22,151	大栢西	111	22	133	農協生田支所	606	457	1,063	部奈辻	1,655	1,012	2,667
東浦	3	1	4	熊野神社	33	31	64	梅松苑前	1	1	2	水槽前	1	0	1
松川高校西	934	591	1,525	大栢団地入口	78	41	119	丸ぼっき	172	26	198	松尾酒店	4	9	13
安田宅前	3	6	9	鶴部辻	48	11	59	中山	77	113	190	斉藤モータース前	2	0	2
大沢北部	684	416	1,100	辻村宅前	92	45	137	溝沢	16	11	27	樫原	0	0	0
原宅前	78	26	104	鶴部東	16	12	28	隧道口	2	6	8	妻の神	72	223	295
吉原線入口	129	234	363	下小松川橋	4	4	8	上峠	447	347	794	部奈文伝	13	67	80
松川石油	91	122	213	本陣	6	12	18	中山辻	6	4	10	西山	18	8	26
上町会所	760	416	1,176	七椙西	147	148	295	中山3会所	7	3	10	羽場	0	2	2
龍泉寺	255	144	399	羽場種苗	40	43	83	ねずみ尾	0	0	0	堤原	48	36	84
柳屋商店	32	55	87	新井	63	360	423	教員住宅前	2	0	2	旧第3選果場	9	10	19
八十葉建設前	0	2	2	ぺっかん前	528	576	1,104	柄山下	37	5	42	住まいの情報センター	15	23	38
桑園会所	496	382	878	キラヤ前	1,127	904	2,031	宇志路	100	57	157	米山宅北	0	69	69
桑園橋	231	231	462	平石橋	4	8	12	かじや	93	94	187	広域農道下垣外西	39	50	89
増野会所	874	684	1,558	下平歯科	100	37	137	橋場	9	18	27	郷原	2	3	5
道祖橋	10	85	95	JA上片桐前	32	26	58	長峰	96	84	180	下垣外南部	5	3	8
清水宅西	198	258	456	三号車車庫前	33	37	70	本洞入口	14	22	36	名子南部会所	33	8	41
関宅北	58	75	133	農協前	1,641	1,280	2,921	倉平	62	61	123	名子中部	85	14	99
上大島公民館	0	12	12	日赤病院	589	1,721	2,310	名子原会所	167	99	266	松川	41	18	59
伊那大島駅	752	1,162	1,914	社協前	359	367	726	斉藤宅前	54	103	157	馬坂南辻	84	27	111
城北会所	413	109	522	将軍塚入口	20	89	109	樫原辻	0	2	2	古町東部会所	94	86	180
多摩川精機西	45	22	67	七椙	127	18	145	下峠	4	4	8	古町公民館	7	8	15
清泉地会館	51	64	115	馬坂	48	13	61	峠マレゴ場上	97	78	175	古町南部会所	146	94	240
町谷会所	6	9	15	宮ヶ瀬	289	119	408	峠会所前	33	24	57	八幡神社	120	106	226
プール前	260	351	611	生田発電所前	306	356	662	一本松	138	129	267	古町北部辻	182	90	272
清流苑	1,008	1,001	2,009	福与保育園前	1,536	1,249	2,785	並木前	31	28	59	神護原神社	36	6	42
三林	3	15	18	宮前	894	831	1,725	長ぞうれ	29	42	71	中塚医院	19	190	209
松川高校前	50	42	92	工業団地入口	391	98	489	大堤	96	88	184	樫原下	33	25	58
清泉地上	37	40	77	福与辻	991	610	1,601	新畑前	32	54	86	原田会所	40	26	66
上片桐駅	71	99	170	石橋	5	18	23	第4会所入口	1	3	4	部奈文化伝承センター	2,479	1,864	4,343
竹村工業東	49	10	59	塩倉	332	300	632	展望公園入口	1	0	1	合計	34,762	34,762	69,524

・・・乗降者数が20人に満たないバス停